社会福祉学科　　社会福祉 専攻

科目名: 心理検査法			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修／選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	選択	

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
心理検査の基礎を学び、人間の多様な心理を客観的に根拠をもって理解するための技術の基礎を習得し、自らを客観的に捉える力を養う。	知能検査、発達検査、脳機能検査、性格検査

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 3. 5. 6.
A 知識・理解力	心理検査の基礎知識を身に付けている。
C 論理的思考力	人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。
E 自己管理力	自己を客観的に見つめ理解し、自らを律することができる。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 40 %	レポート: 40 %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　(グループワーク)　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:詳細は初回時に説明する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:中間期と期末にフィードバックする。

授業計画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①心理検査実施時の注意事項、倫理規定および報告書の書き方。	心理・福祉における倫理規定を調べる。	30
②知能検査1:ビネー式知能検査	ビネー式知能検査についてまとめる。	60
③知能検査2:ウェクスラー式知能検査	ウェクスラー式知能検査についてまとめる。	60
④知能検査3:その他の知能検査	知能検査について復習する。	60
⑤性格検査1:質問紙法検査	質問紙法性格検査についてまとめる。	60
⑥性格検査2:投影法検査	投影法性格検査についてまとめる。	60
⑦性格検査3:作業検査法検査	作業検査法性格検査についてまとめる。	60
⑧知能検査と性格検査のまとめ	レポートをまとめる。	60
⑨乳幼児の発達に関する検査	発達検査についてまとめる。	60
⑩行動・社会性に関する検査および親子関係に関する検査	行動・社会性に関する検査についてまとめる。	60
⑪言語発達に関する検査	失語症検査についてまとめる。	60
⑫知覚・感覚に関する検査	知覚に関する検査についてまとめる。	60
⑬記憶に関する検査	記憶検査についてまとめる。	60
⑭高次脳機能検査	高次脳機能検査についてまとめる。	60
⑮全体のまとめ	総復習をする。	120

使用テキスト: テキストなし。必要な資料等は講義時に配布する。	その他参考文献など:松原達哉(編)心理テスト法入門第4版—基礎知識と技法習得のために—[日本文化科学社]

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):心理・福祉の領域で用いられている各種心理検査について学び、体験しながら、心理アセスメントの基礎を学びます。体験学習によるアクティブ・ラーニングで学びます。

社会福祉学科　　社会福祉 専攻

科目名: 臨床心理学			担当教員 氏名: 石津 孝治		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	講義	選択	

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
心理的援助についての理論ならびに技法の基礎と心理療法プロセスについて扱う。精神分析やクライエント中心療法、行動療法といった、主要な心理療法各学派の理論と技法について概説した後、事例検討を多く取り入れることによって心理療法プロセスについて学ぶとともに、知識の定着を図りたい。	・心理学的援助　・事例検討

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 5. 6. 7. 8. 9.
A 知識・理解力	心理学的援助の理論と技法に関する基礎的概念を理解する
C 論理的思考力	理論が援助プロセスでどのように生かされるかについてイメージを持てる

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　(ディスカッション)、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期: 別に定める。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却

授業計画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①来談者中心療法の理論と技法に関する知識を習得する。	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
②来談者中心療法が重視する、共感、受容の本質について焦点を当て、事例を用いて理解を深める。	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
③精神分析1(精神分析的人格論、技法論に関する知識を習得する)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
④精神分析2(精神分析の発達論についての知識を習得する。)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑤事例検討1(PTSDの治療例を素材とし、心的外傷の援助について学ぶ)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑥プレイセラピーの理論と技法について学ぶ。	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑦事例検討2(子どものプレイセラピー実践例を素材とし、子どもの援助に必要な知識、態度について学ぶ)	予習。①~⑥までの内容の理解を確認する。	予習30分
⑧前半のまとめ。心理学的検査法(投影法による人格検査を実体験し、その方法と意義を学ぶ)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑨事例検討3(うつ病の治療例を素材とし、うつ病者に対する援助方法について学ぶ)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑩事例検討4(子どものプレイセラピーと箱庭を併用した実践例について学ぶ)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑪コラージュ療法体験	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑫事例検討5(被虐待児とその母親に対する心理治療例を素材とし、被虐待児と母親の援助について学ぶ)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑬事例検討6(行動化を伴ったうつ症状を呈する心理治療例を素材とし、行動化の意味と対応について学ぶ)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑭児童養護施設児童の心理的援助について学ぶ	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分
⑮全体のまとめ。 心理的援助の本質について	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分

使用テキスト:	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):

社会福祉学科　　社会福祉 専攻

科目名：スポーツ理論					当教員 氏名：本田 由美子
単位	開講時期（年次・期）		科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
2	2年次	後期	総合科目	講義	選択	

授業科目の学習教育目標の概要：	キーワード
スポーツと運動文化について、その歴史的変化の過程を踏まえて総合的に理解を深めるとともに、生涯にわたって豊かなスポーツライフを設計し実践してゆく方法を学ぶ。特にスポーツが健康に及ぼす効果を理解する。	・スポーツ　・運動　・健康

授業における学修の到達目標

学習教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．2．5．6．8
A 知識・理解力	スポーツ文化を歴史的に幅広く理解する。
C 論理的思考力	運動が健康に及ぼす影響について具体的に理解し実践できる能力を養う。

成績評価の方法・基準：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト：30 %	レポート：30 %	発表：20 %	実技試験：　%	その他：20 %

特記事項：アクティブラーニングの一環として、新聞等のスポーツ記事をファイルし、発表とディスカッションを行なう。
その他には、授業中の態度と提出物の内容・提出状況等で評価する。

アクティブラーニング要素：
課題解決型学習　(ディスカッション、ディベート)　グループワーク　(プレゼンテーション)　実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：第7回目と第15回目にレポートを提出する。筆記テストは別に定めた日時に実施する。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：スポーツ記事ファイルにコメントを加え返却する。テストは採点し返却する。

授業計画	準備学習（予習・復習等） 学習内容	学習に必要な時間（分）
①オリエンテーション・スポーツ体験発表	【復習】スポーツの実施	
②スポーツと健康	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】②の復習	【予習】120分 【復習】120分
③スポーツと体力づくり	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】③の復習	【予習】120分 【復習】120分
④スポーツの生理学①	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】④の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑤スポーツの生理学②	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑤の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑥基礎的トレーニング法①	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑥の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑦基礎的トレーニング法②	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑦の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑧トレーニングプログラムの作成	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑧の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑨スポーツ事故と安全管理	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑨の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑩運動障害と救急法	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑩の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑪高齢者の健康と運動	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑪の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑫運動文化の歴史　①スポーツの変遷と国際理解	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑫の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑬運動文化の歴史　②スポーツの社会的役割	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑬の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑭生涯スポーツに向けて	【予習】スポーツに関する記事をファイルする 【復習】⑭の復習	【予習】120分 【復習】120分
⑮まとめ	【予習】①から⑭までの復習	【予習】240分

使用テキスト：毎時間プリント配布	その他参考文献など： 「スポーツトレーニングの基礎理論」西東社 「目でみる筋力トレーニングの解剖学」大修館書店

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：
日頃から、自分自身のからだを取り巻く状況から、スポーツに関するニュースまで注意して、それらが意味することを考えるように心がけてください。

社会福祉学科　　社会福祉 専攻　　2年

科目名: 情報処理Ⅱ				担当教員 氏名: 松本 三千人	
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択	

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテなど急速に情報化が進み、情報化スキルの必要性が高まっている。この科目では1年次に学習した基礎的な知識や活用能力を用いて、より高度なソフトウェアの利用・応用スキルを修得する。	インターネット、 表計算 データベース、 マルチメディア

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 8.
A 知識・理解力	・Word、Ecel, PowerPointの統合利用を理解する。 ・より高度な情報作成能力を身に付け、活用能力を高める。 ・データベースやマルチメディア処理などの応用スキルを修得する。
D 問題解決力	
C 論理的思考力	

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: %	発表: %	実技試験: 50 %	その他: 50 %

特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。
・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　(グループワーク)　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。また授業期間の中間と最後に実技試験を行う。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。また複数回実施する実技試験については採点結果を伝える。

授業計画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
① Wordによる文書作成の復習(年賀状の作成など)	Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
② Wordにおける書式設定	Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
③ Wordによる複雑な表作成	Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
④ WordとExcelの結合による文書作成	Word/Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑤ WordとExcelによる文書作成技術を再確認する。	Word/Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑥ Excelの基本操作の復習	Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑦ Excelによる複雑な表作成	Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑧ Excelによる複雑な数式・関数の活用	Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑨ Excelによる高度なグラフ作成	Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑩ Excelによるデータベースの作成と処理	Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑪ Excelの応用操作を再確認する。	Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑫ PowerPointの復習とアニメーションの利用	PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑬ Excelを利用したプレゼン資料の作成	PowerPoint/Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑭ イラスト、写真などを利用したプレゼン資料の作成	PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分
⑮ Word、PowerPoint、Excelの応用操作を再確認する。	Word、PowerPoint、Excelの予復習をする	【予習】30分 【復習】30分

使用テキスト: 電子コンテンツの 「できるWord2013」、「できるPowerPoint2013」、「できるExcel2016」(インプレスジャパン)	その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版) Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習を行うこと。

社会福祉学科　　社会福祉　専攻

科目名：　地域福祉論Ⅱ				担当教員　氏名：　中村　尚紀	
単　位	開講時期（年次・期）	科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
2	2年次　後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格（必修）

授業科目の学習教育目標の概要：	キーワード
地域福祉論Ⅰに引き続き、地域福祉の展開の仕方を各方法論を用いながら、最近の地域福祉の動向と結びつけ課題解決の方法を学ぶ。	コミュニティワーク、 ソーシャルサポートネットワーク、 アウトリーチ、ソーシャルアクション

授業における学修の到達目標

学習教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．2．3．5．6．7．8．9
A　知識・理解力	地域福祉に関する知識を体系的に理解することができる。
B　専門的技術	地域福祉を実践できる能力を習得する。
C　論理的思考力	社会問題を地域福祉の概念を根底にし、複眼的理論的に分析し、支援に活かせる。
D　問題解決力	地域課題を解決するために必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。
H　コミュニケーション力	地域課題を多角的に分析するため、協働しながら問題を解決するコミュニケーション力を養う

成績評価の方法・基準：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト：　50　%	レポート：　40　%	発表：　　%	実技試験：　　%	その他：　10　%

特記事項：「その他」においては、授業中の態度などで評価する。
本科目ではアックティブ・ラーニングの一環としてグループワークとプレゼンテーションを行う。

アクティブラーニング要素：
課題解決型学習　　ディスカッション、ディベート　　グループワーク　　プレゼンテーション　　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期：レポートは毎回提示、中間レポートは第7回目、期末テストは別に定めた日時に実施。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：：レポートと中間レポートはABCD評価、期末テストは100点満点で採点し返却する。

授　業　計　画	準備学習（予習・復習等） 学習内容	学習に必要な時間（分）
①ソーシャルサポートネットワーク	【予習】教科書第7章のソーシャルサポートネットワークを読む。 【復習】教科書第7章第をソーシャルサポートネットワークレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
②地域における社会資源の活用・調整・開発　社会資源の活用と開発	【予習】教科書第8章第1節の社会資源の活用と開発を読む。 【復習】教科書第8章第1節の社会資源の活用と開発をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
③地域における社会資源の活用・調整・開発　ニーズ対応型福祉サービスの開発	【予習】教科書第8章第2節のニーズ対応型福祉サービスの開発を読む。 【復習】教科書第8章第2節のニーズ対応型福祉サービスの開発をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
④地域における社会資源の活用・調整・開発　税制優遇と助成金の活用	【予習】教科書第8章第3節の税制優遇と助成金の活用を読む。 【復習】教科書第8章第3節の税制優遇と助成金の活用をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑤地域における社会資源の活用・調整・開発　福祉でまちづくりとソーシャルアクション	【予習】教科書第8章第4節の福祉でまちづくりとソーシャルアクションを読む。 【復習】教科書第8章第4節の福祉でまちづくりとソーシャルアクションをレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑥地域における福祉ニーズの把握方法と実際	【予習】教科書第9章の地域における福祉ニーズの把握方法と実際を読む。 【復習】教科書第9章の地域における福祉ニーズの把握方法と実際をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑦地域トータルケアシステムの構築と実際　地域トータルケアシステムの必要性と考え方	【予習】教科書第10章第1節の　地域トータルケアシステムの必要性と考え方を読む。 【復習】教科書第10章第1節の　地域トータルケアシステムの必要性と考え方をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑧地域トータルケアシステムの構築と実際　地域トータルケアシステムの展開方法	【予習】教科書第10章第2節の地域トータルケアシステムの展開方法を読む。 【復習】教科書第10章第2節の地域トータルケアシステムの展開方法をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑨地域トータルケアシステムの構築と実際　地域トータルケアシステムの事例	【予習】教科書第10章第3節の地域トータルケアシステムの事例を読む。 【復習】教科書第10章第3節の地域トータルケアシステムの事例をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑩地域における福祉サービスの評価方法と実際	【予習】教科書第11章の地域における福祉サービスの評価方法と実際を読む。 【復習】教科書第11章の地域における福祉サービスの評価方法と実際をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑪災害支援と地域福祉　災害支援の考え方と方法	【予習】教科書第12章第1節の災害支援の考え方と方法を読む。 【復習】教科書第12章第1節の災害支援の考え方と方法をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑫災害支援と地域福祉　災害支援の実際	【予習】教科書第12章第2節の災害支援の実際を読む。 【復習】教科書第12章第2節の災害支援の実際をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑬日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方　イギリス	【予習】教科書第13章第1節のイギリスの地域福祉を読む。 【復習】教科書第13章第1節のイギリスの地域福祉をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑭日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方　アメリカ	【予習】教科書第13章第2節のアメリカの地域福祉を読む。 【復習】教科書第13章第2節のアメリカの地域福祉をレポートでまとめる。	【予習】120分 【復習】120分
⑮まとめ	【予習】教科書第7章から第13章を読み地域福祉論Ⅱの全体を復習する。	【予習】240分

使用テキスト：新・社会福祉士養成講座第9巻　第3版　地域福祉の理論と方法―地域福祉論（中央法規）	その他参考文献など：　よくわかる地域福祉　第5版　上野谷加代子・松端克文・山縣文治 編　（ミネルヴァ書房）

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：地域福祉の基礎からの地域福祉の展開や方法を学んでいきます。地域福祉の理解を促進するため予習と復習を行ってください。

看護学科

科目名: 体育と運動生理			担当教員 氏名: 韓 在都、 小川 耕平		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修／選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
人体の仕組みについて科学的に理解し、幅広い知識を持って健康・体力づくりについて理解し、実践できるようにする。特に生活習慣病予防や介護予防の運動処方や実践方法について理解を深める。	運動・健康生理学 介護予防運動

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 2. 3. 6. 7. 9
A 知識・理解力	人体の仕組みについて生理学的に理解ができる。
B 専門的技術	人体の仕組みについて生理学的に理解し、医学(看護)と運動を関連付けることができる。
D 問題解決力	疾病や予防のために必要な健康・体力づくりについて生理学的に理解できる。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 70% %	レポート: 30 %	発表: %	実技試験: %	その他: %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
(課題解決型学習) ディスカッション、ディベート (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間評価および全体振り返りは、別に定めた日時に実施する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回ノートの確認時にコメントシートを渡す。

授業計画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①【韓】オリエンテーション 運動の生理学概論	運動生理学とは何かを理解する	【予習】60分
②【韓】運動時の身体は安静時と何が違うのか	運動時と運動時の身体の全身的な機能の違いを理解する	【予習】60分 【復習】60分
③【韓】生活習慣と身体運動	生活習慣と身体運動の関係を理解する	【予習】60分 【復習】60分
④【韓】健康・運動実践のための心理・社会的要因	運動を実践するための動機付けを明らかにし、その変容プロセスを理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑤【韓】健康づくりと運動の実践 ①運動プログラムの構成	健康・体力づくりに必要なプログラム作成の基本原理について理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑥【韓】【韓】健康づくり運動の実践 ②ストレッチングの実践	ストレッチングの重要性と実践上の注意点などについて理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑦【韓】健康づくり運動の実践 ③ウォーキングの実践	運動プログラムでは大切なウォーキングを科学的に理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑧【韓】健康づくり運動の実践 ④レジスタンストレーニング	健康・体力づくりとレジスタンス運動について理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑨【韓】中間評価とまとめにおける健康	前半部分の試験による評価と理解度を確認する。	【予習】60分 【復習】60分
⑩【小川】高齢社会における健康	加齢と老化、生活習慣と生活機能の自立度などの理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑪【小川】介護予防運動とは	介護予防の必要性と国の施策について理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑫【小川】介護予防運動の実践 ①転倒予防運動の実践	転倒予防を目的とした筋力強化を目指すための運動指導方法を理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑬【小川】介護予防運動の実践 ②体力測定の実践	介護予防運動における体力測定の重要性を理解する	【予習】60分 【復習】60分
⑭【小川】運動指導法の実践	健康・体力づくりに必要な運動指導法を実践し、指導上の特徴や留意点を学ぶ	【予習】60分 【復習】60分
⑮【小川】まとめ	看護現場における健康・体力づくりの知識をまとめる	【予習】120分

使用テキスト: 随時プリント等で配布します。	その他参考文献など: ・健康・運動の科学(講談社) ・運動とスポーツの生理学(市村出版)

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 理解できない点があればその時点で質問することを勧めます。